

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3 - 2 1	第 1 4 期 5 回 食品衛生推進会議		
開催日時	令和 7 年 1 0 月 1 5 日 午後 2 時から午後 4 時まで			
開催場所	すみだ保健子育て総合センター 3 階 3 0 1 会議室			
出席者数	1 7 人【委員】森八一、大橋行、佐伯信郎、鈴木健志、平賀浩士、滝沢彰良、 渡部真由美、宮本真一、増井孝至、芹田規久江、鈴木初代 【事務局】生活衛生課長、食品衛生係長、係員 3 名、係員見学者 1 名			
会議の公開 (傍 聴)	公開(傍聴できる)		傍聴者数	
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 食品衛生推進員の交代について(追加資料) 2 食品衛生推進員からの報告 3 議題 令和 8 年度墨田区食品衛生監視指導計画の主な事業について(資料 1) 4 報告事項 普及啓発用品の作成について(資料 2) すみだ食育フェス 2 0 2 5 への参加について(資料 3) 食品衛生夏期対策事業の実施結果について(資料 4) 5 情報提供 東京都内の食中毒発生状況について(資料 5) 区内施設における苦情相談・苦情事例について(資料 6) 飲食店等における食物アレルギー対策の支援に係る講習会の開催について(資料 7) 			
配 付 資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和 8 年度墨田区食品衛生監視指導計画の主な事業(案)について 2 普及啓発事業について 3 すみだ食育フェス 2 0 2 5 への参加について 4 食品衛生夏期対策事業の実施結果について 5 令和 7 年東京都食中毒発生状況(速報値)について 6 区内施設における苦情相談・苦情事例について 7 食物アレルギーオンライン講習会の開催について <p>(追加資料) 第 1 4 期墨田区食品衛生推進員名簿 新旧表</p>			

会議概要

1 食品衛生推進員の交代について（追加資料）

事務局が概要を説明した。

【主な意見等】

なし

2 食品衛生推進員からの報告

- ・ 7月6日、日本栄養士会災害対策支援チームのスタッフ育成研修会が、すみだ保健子育て総合センターであった。災害時食支援の食中毒予防と衛生管理について講義があり、後日、病院内の栄養管理科スタッフ20名に内容を共有した。
- ・ 10月18日、東武が管理するコトマチラボからの依頼でお菓子教室のワークショップがあり、手洗いの講習を行う予定である。
- ・ 定例的な役員会内で注意喚起を行った。
- ・ 食品衛生協会組合員へ7月にアルコール配布、8月に検便配布を実施した。
- ・ 8月の食中毒予防キャンペーンの見学に行き、改めて食中毒予防について学ぶことができた。クイズに引っかかってしまい、引き続き、啓発に努めていきたい。
- ・ 月に1回、実施している定員15名の男の料理教室で調理前の時間に、手洗い、食品の持ち帰りについて、注意事項を伝えた。魚、肉、野菜等、使うものによる包丁、まな板の使い分け、消毒について話をした。
- ・ 毎月1回、食品の各テナントの厨房に設備担当とまわり、採点を実施し、各テナントにフィードバックした。粘り強く指導し、食中毒に関する事故を未然に防ぐように努めたい。
- ・ 5月から9月において、事業者内に感染症対策や食中毒防止に向けた掲示物による普及啓発を実施した。
- ・ 毎月、食品の回収情報を収集しているので、その情報を社内関係者に共有した。また、社内希望者を対象に、食品表示の最新動向について食品表示勉強会を行った。食品の容器包装について、取引先等からも問い合わせがあることから、社内関係者に情報共有を行った。
- ・ 自社向けの食品衛生に関する教育を深める資料の作成や、食中毒発生状況の統計資料の発信、顧客からの衛生管理の問い合わせに関する回答の支援を実施した。
（副座長）
事務局へのお願いになるが、今回から増井委員が初めてであるため、名簿があると、よろしいか思う。
（事務局）
次回以降対応させていただきます。

3 議題

令和8年度墨田区食品衛生監視指導計画の主な事業について（資料1）

事務局が概要を説明した。

【主な意見等】

- ・ 墨田区におけるHACCPの普及率はどれくらいか。

(事務局)

指標となるものはステッカーの交付率となる。実態が把握しきれていない部分もある。

- ・ HACCPのステッカー交付を受けた飲食店で、来られた客から意見等はあったか。

(事務局)

その場で渡しているため、その後の反応などは分からない。

- ・ 区としてHACCPの周知についてどのような対応を行っているか。
- ・ 客から反応はない。

(事務局)

町会の掲示版の活用やパンフレットを作成し、食中毒予防キャンペーン等のイベントでの配布、パネル作成をし、掲示を行っている。なかなか認知度が伸びていないのが現状である。

(副座長)

私たち、食品衛生推進員もHACCPを広げていく活動を行われなければならないので、よろしくをお願いします。

- ・ HACCPが広まる広まらないで考えていくと、やっているから安心だ、やっていないから心配だという実感が消費者にないのではないか。区民に発信しないと自分事として捉えられないのではないか。

(副座長)

HACCPという言葉は知らなくても、HACCPと同じことをしている人も大多数いると思う。今後、それがHACCPであることをどうつなげていくかが課題であると思われる。HACCPステッカーの反響はどうか。

(委員)

反応はあまりない。衛生管理を遵守している店というステッカーの方が分かりやすいのでは。

(副座長)

ポケットティッシュには記載されていたので、HACCPの下に括弧書きで良いので、こういったものであるということを記載し、分かりやすく表示する方法もあるのでは。

4 報告事項について

普及啓発事業について(資料2)

事務局が概要を説明した。

【主な意見等】

- ・ すみだこの風船について、小さい子供から好評とのことであったが、クリアファイルについて、何か反応はあったか。

(事務局)

すみだこがいるので、可愛いと言われることはある。また、チラシを入れるのに利用している。

(副座長)

施設が病院であるが、事務連絡などにファイルを使用しており、他の部署の方から聞かれるので、そういったところから、認知度が上がってくるのかと思う。皆様の施設でこういう使い方をしているとかあったら、お知らせください。その他の使用方法として、院内の事業で月に1回、フードパントリーを行っており、その時に初めて参加された方に、パンフレットとクリアファイルをお渡しして、家庭でも食品の衛生に気をつけるように、啓発を行っている。

すみだ食育フェス2025への参加について(資料4)

事務局が概要を説明した。

【主な意見等】

- ・ アニサキスの講習会について、どういった方から申し込みがあったか。例えば、アニサキスになったことがある方とか、若い方がこういったイベントを見つけて応募してくるとか、どういう方からか。

(事務局)

年齢層としては万遍なく、低年齢で親子連れや、釣り好きな方が興味を持って参加したりしていた。申し込み自体も1週間程度で埋まってしまうような状況であった。

(副座長)

施設内のスタッフが申し込もうとしたが、すでにいっぱいということであった。もう少し定員を多くすると良いのでは。

食品衛生夏期対策事業の実施結果について(資料4)

事務局が概要を説明した。

【主な意見等】

- ・ 注意指導のところ、具体的に今年多かった内容を教えてください。

(事務局)

施設内の清掃状況が多く、更新検査で立ち入りした際に、手洗い器や区画の扉を取ってしまっていたりするので、そういったところの注意指導を行っている。

- ・ (食中毒予防キャンペーンの)資料4で団扇と手洗いは、協会で行った。手洗い実習を行った方から、「キレイに洗うとご飯も美味しくなるよ」と言われたことが印象的であった。学校を選び、書いて貰った絵を選び、時間をかけて、竹製の団扇にしている。イベントも見に来てほしい。

(副座長)

「キレイに洗うとご飯も美味しいよ」というフレーズがとても素敵なので、このフレーズをどこかで使わせてもらえればよいのでは。

- ・ 実施結果の食べ残しの持ち帰りの指導について、延べ件数192件のうち、注意指導を行った軒数は25件ということで、衛生管理をしていない施設が25件ということか、それとも、していますとの申告があったが、監視員の視点から、不適切なところが25件ということか。

(事務局)

食べ残しの持ち帰りを実施しているにも関わらず、特段の対応を行っていない施設に対し、注意をした方がよいと指導を行ったもの。

- ・ 一言付け加えれば良いということか。

(事務局)

ガイドラインも作成されているので、そのガイドラインを用いて店側が説明するように記載されているので、保健所でもそのガイドラインに沿って説明するように伝えている。

- ・ クイズの選択肢の内容が、すごくセンスの良い内容になっている。正解率が低いのもその流れで、選んでしまう部分も影響していると思う。自分でも迷ってしまう部分があり、非常に素敵な作りで良いと思った。
- ・ クイズに参加したが、パパッと読んでしまい、自分の中で落とし込まずに回答してしまった。クイズになることで、自分の中に落とし込めると思う。参加して良かった。
- ・ 問題の作り方、選択肢が絶妙で、とてもすごいと思った。

5 情報提供

東京都内の食中毒発生状況(資料5)

事務局が概要を説明した。

【主な意見等】

- ・ 月別の発生状況で8月は、患者数が7、件数が2、去年は患者数が34、件数が5で、患者数はおいて、件数は他の月と比べて少ない傾向にあるのか。

(事務局)

速報値ということもあり、集計が間に合わず、最終的には増える可能性もある。

(副座長)

食中毒というと、冬場はノロウイルスで発生しやすい部分があり、夏場は少ない印象を受けるが、夏場は食品の保管状態の影響で多くなる傾向にあるので、皆さん気をつけている印象もある。

区内施設における苦情相談・苦情事例について(資料6)

事務局が概要を説明した。

【主な意見等】

- ・ 事例2について、本当にカビかどうかの確認の検査は行ったのか。

(事務局)

実際の商品も持ってきてもらい見たわけではないので、検査を行いカビかどうかの判断を行ったものではない。

- ・ 資料5と、有症苦情の中で病因物質が分かるのはどのような経緯か。病因物質が分かったが食中毒と断定していないのか、届出をしたが検査をしていないとかどういう経緯のものが含まれるのか。

(事務局)

資料5のものは、食中毒として判断し、病因物質が断定しているものを報告し

ている。原因はわからないが、このお店の物を食べて、お腹を壊した等の報告も含まれていて、原因が掴めていないものも多い。調査を行い、病因物質が判明している場合、食中毒と断定していることが多い。

- ・ 事例1と事例2は苦情要因の内訳としてどこに分類されるか。

(事務局)

事例1は、施設・設備取扱い不良というところに、事例2のカビが生えていたについては、カビの発生に入る。

- ・ 事例2で客席に設置してあるエアコンの風と記載があるが、以前イベント会場で、販売されたマフィンで糸を引いていたケースでも、冷ます場所がなく似たようなケースであった。こういったケースは、あるものなのか。安易な気持ちではないと思うが、冷ます場所がないからエアコンを使うのはどうなのかと思う。

(事務局)

実際に、手狭なスペースで調理されている施設があり、保健所として、立ち入りした際や消費者の方からの通報を受け、発覚するケースがある。

飲食店等における食物アレルギー対策の支援に係る講習会の開催について(資料7)

事務局が概要を説明した。

【主な意見等】

- ・ こちらのチラシについて、どれくらい前から周知されているのか。

(事務局)

9、10月ころに通知があったかと思うが、保健所ではあまり広く周知は行っておらず、窓口にチラシを置き、周知をしているところである。

- ・ どのような対象者に配布しているのか。

(事務局)

配布はしておらず、窓口に置いている。

- ・ 組合や食品衛生協会をとおし、配布することができる。部数に限りがあるのか。

(事務局)

東京都から送付があったものだが、そんなに多くはなかった。

(副座長)

こういったつながりがあるので、広くアナウンスして頂けるとよろしいと思います。

(副座長)

こちらの議題についてではないが、HACCPについて、委員からご意見を頂きまして、広がっていかないというところではあるが、夏期対策事業の実施結果の食品衛生講習会を実施のところ、食品関係営業者・従事者向け428名、消費向け87名、計515名の方が参加されているというところから、段々と広がってきていると思った。こちらの人数には、重複されている方もいらっしゃるのか。

	<p>(事務局) 可能性としてはある。</p> <p>(副座長) 受講後にアンケートなどはされているのか。</p> <p>(事務局) 現在のところ、実施はしていない。</p> <p>(副座長) アンケートをして頂くと、今後の見解の参考になると思われるので、機会があれば、お願いしたい。ホームページでアニサキスについて、アナウンスしていたが、Xでは、行っているか。</p> <p>(事務局) 行っている。</p> <p>会議の概要は、以上である。</p>
所 管 課	保健衛生部 生活衛生課 食品衛生係 (03 - 5608 - 6943)